

# 港区フィルムコミッション運営業務委託企画提案書（概要）

提出者

港区フィルムコミッションパートナーズ

代表事業者 株式会社じも研

## 企画提案書①（基本姿勢）-様式 7-

港区フィルムコミッション運営業務を行うにあたり、港区の魅力や強み、地域特性についてどのように捉えているか示してください。またその特徴を踏まえ、映像制作者に対してどのように提案をしていくかを示してください。

### 当事業体の基本姿勢

当事業体は、港区における映像業界のニーズや事業者の現状を把握するために、映像関連事業者や区内事業者への広範なヒアリングを実施した。港区が提供する多様なロケーションを最大限に活用し、地域と映像制作の調和を図り、撮影支援に注力する方針である。

### 概要

港区には、青山、六本木、赤坂など、多様なロケーションが豊富に存在する。一方、厳格な規制や複雑な申請手続きが、制作会社にとっての障壁となっている。

### 課題設定

ロケ撮影に対する住民の理解促進や、地域との調和が不可欠である。映像作品の誘致を通じて地域活性化をさらに推進するため、継続的な取り組みが求められている。

### 目標設定

メディアと協力し港区の撮影を促進するとともに、公開映像による情報発信を通じて地域経済の活性化とシビックプライドの向上を図る。また、住民理解と協力を得て撮影の受け入れ意識を醸成し、手続きの効率化を目指す。

### 当事業体の基本姿勢

- ・ 本物の魅力を発掘・発信すること
- ・ あくまでも“まちの味方”であること
- ・ 関係者を“一体化”するハブ役であること

### 港区の魅力と撮影地としての利点

港区は、アクセスの良さ、映像関連事業所の充実、歴史的価値を持つランドマークが豊富で、映像作品の撮影に適している。また、六本木の乃木坂トンネルなど、意外なロケ地も多く存在する。

## 港区で実現できる撮影アイデア

- ・ **モダンと伝統の融合**

高層ビルと神社や寺が共存する港区の景観を活用し、未来と過去が交錯する物語を描くことができる。

- ・ **アート**

美術館やギャラリーを背景にしたアート関連の撮影が可能で、文化的な映像作品に最適である。

## 映像制作者向けの提案戦略

港区の魅力を海外メディアに向けて発信する。

## 住民のロケ受け入れ意識の醸成にむけて

- ・ **施策案 1:**

町会や商店街に向けた説明会を実施し、住民理解を促進する。

- ・ **施策案 2:**

区民のエキストラ募集を通じて地域の魅力を再認識してもらい、将来的には「港区ロケサポーター」を育成する。

## 企画提案書②（全体調整）-様式 8-

ロケ撮影にあたり、(1) 映像制作者、(2) 区有施設関係者、(3) その他施設関係者等に対してどのように調整、サポートを行うことができるか、支援体制等も含めご提案ください。

### 映像制作者

- ・ **開始期**

代表事業者が保有する映像制作会社のメーリングリストを用いて、メールと電話で港区フィルムコミッション（FC）設立を周知。

- ・ **運用期**

受け身ではなく積極的に情報提供する FC を目指し、月次のメールマガジンや SNS で最新のロケ地情報を配信する。

## 区有施設関係者

- ・ **開始期**

各区有施設を訪問し、撮影実績や課題、手間のかかる作業を調査。施設担当職員と共に課題解決の方法を検討し、新たなルールを策定する。

- ・ **運用期**

撮影時には事前にルールを周知し、FCスタッフが立ち会い管理を行う。違反があれば注意を行い、必要に応じて撮影中止措置をとる。終了後に報告とヒアリングを実施し、ルールの見直しを継続する。

## その他施設関係者等

- ・ **開始期**

「単体施設」と「町会・商店街等」を対象に詳細調査とFC事業の説明を行い、協力体制を構築する。

- ・ **運用期**

撮影誘致時には（２）と同様に管理や報告を行い、メッセージツールも活用し調整を円滑に進める。

## 東京ロケーションボックス

総括責任者である田中が東京ロケーションボックスの担当課長経験を活かし、連携を強化する。

## 発注者の担当職員

- ・ **開始期**

キックオフミーティングにてスケジュールや成果を確認し、役割分担を明確にする。開始期には週単位で打ち合わせを行い、進捗と課題を共有する。

- ・ **運用期**

月定例会議を開催し、進捗や問題点を共有。重要な決定事項や変更点は報告と了承を得た上で進行し、突発的な課題にも迅速に対応する。

## 企画提案書③（創意・工夫）-様式 9-

これまで区内で行われたロケ情報等の収集について、テレビ、映画、映像制作会社等のメディア関係者などのように連携し、情報収集を行いますか。また、収集したロケ情報のデータベース化や情報発信の方法について、Webサイト画面の案等も含めてご提案ください。

## 収集の目的（当事業体の理解）

- ・ 効率的なロケ地登録
- ・ ロケ地の魅力と課題の把握
- ・ 地域別ポテンシャルの評価
- ・ FCの効果測定
- ・ シティプロモーションとシビックプライド

## 収集方法

### ・ 映像制作関係先への情報収集

メディア関係者リストを利用し、ヒアリングで区内ロケ実績を調査。民間のロケ地情報サイトも調査対象とする。

### ・ 区有施設関係者、その他施設関係者等への情報収集

FC担当者と各施設を訪問し、詳細な調査を行う。

### ・ 情報の検証

ロケ実施の確認を行い、必要に応じて該当作品の裏付け検証を行う。

## 課題と対応

港区のPRに資する作品の公式画像や動画を取得する際、権利関係の確認と契約が課題である。以下の対応を行う。

### ・ 申請書ひな形の作成

画像・動画利用に関する申請書を作成し、申請の効率化を図る。

### ・ 権利調査

出版記録の確認や著作権者への問い合わせを通じて、事前調査を進める。

### ・ 教育

著作権に関する教育をFCスタッフとチームスタッフに実施する。

## 収集したロケ情報のデータベース（以下DB）および情報発信（以下WEB）の方法

### ・ DB：ロケーション実績 / WEB：ロケーション実績ページ

ロケ実績を「映画」「ドラマ」「バラエティ」など媒体別に分類し、「作品名」と「主なロケ地」を一覧化して掲載。

- ・ **DB：ロケ地情報 / WEB：ロケ地情報検索ページ**

区有施設や民間施設を 14 カテゴリーに分類し、各ロケ地の名称、住所、地図、バーチャルロケハン動画、作品一覧を掲載する。

- ・ **外部 DB との連携**

港区FCでのロケ地登録完了後、東京ロケーションボックスDBに即座に登録を進め、互換性を確保する。

### **来訪意欲を高め、区内周遊を促進するための施策**

- ・ **ロケ地を紹介する観光マップの作成と配布**

港区のロケ地を紹介する観光マップを作成し、観光案内所や交通機関で配布。オンライン版も提供する。

- ・ **ロケ地を巡るスタンプラリーの実施**

ロケ地を巡るスタンプラリーを行い、来訪者が区内を楽しみながら周遊できるよう促進する。